

これまでのバリアフリー化の取組について

(1) 駅の主なバリアフリー化の状況

当社線 86 駅（神戸高速線および天神橋筋六丁目駅を除く）のうち、2022年8月3日現在の主なバリアフリー設備の整備状況は次のとおりです。

整備内容	整備状況（駅数）
エレベーター、スロープの設置によりバリアフリー化されている駅	84 駅（整備率約 98%）
車椅子用トイレが設置されている駅	83 駅（整備率約 97%） ※うち 73 駅はオストメイト対応の水洗器具を設置しているバリアフリートイレ
エレベーターが設置されている駅	68 駅 191 基
エスカレーターが設置されている駅	42 駅 250 基
可動式ホーム柵が設置されている駅	2 駅（十三駅（3・4・5号線）、神戸三宮駅）



エレベーター（洛西口駅）



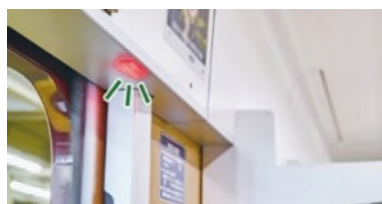
バリアフリートイレ（淡路駅）



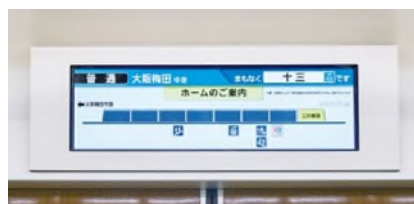
可動式ホーム柵（神戸三宮駅）

(2) 車両の主なバリアフリー化の状況

当社の最新型車両である 1000 系、1300 系では、扉の開閉予告装置や車内案内表示器を設置するとともに、車椅子スペースの拡大を図っており、その他の車両においても、リニューアル工事にあわせて、こうした設備の導入を進めています。



扉の開閉予告装置



車内案内表示器



車椅子スペースの拡大

なお、2020年度からは、視覚に障がいのあるお客様に車両の乗降口の位置をお知らせするため、扉が開いている間、誘導音が鳴動する機能を順次導入しています。

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

整備方針	
全期間	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵、ホームと車両の段差隙間解消に資する設備を整備する。 ・中津駅のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 ・車両のフリースペースを整備する。 ・各駅に設置のエスカレーター、エレベーターの更新を行う。
2021～2025年度	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵を整備する。 ・車両のフリースペースを整備する。 ・各駅に設置のエレベーター、エスカレーターの更新を行う。
2026年度以降 (2035年度まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵、ホームと車両の段差隙間解消に資する設備を整備する。 ・中津駅のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 ・車両のフリースペースを整備する。 ・各駅に設置のエレベーター、エスカレーターの更新を行う。

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額（円）	10	10	※1	—
年間徴収額 (百万円)	2,525百万円 ※2		1,147百万円	—
料金徴収 対象駅	全86駅（神戸高速線内除く）			
備考	※1：1か月380円、3か月1,080円または1,090円、6か月2,050円または2,060円 ※2：普通回数券、団体乗車券、貸切乗車券、一部の企画乗車券を含む 鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途通知する。			

年間徴収額	3,672	百万円
徴収期間	13	年間（2023.4.1～2036.3.31） ※2036年度以降も継続予定
総徴収額	47,780	百万円
総整備費	91,258	百万円
	2021～2025年度の計画	17,222 百万円
	2026～2035年度の計画	74,036 百万円 ※2036年度以降も継続予定

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附带費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	8 駅	24 番線	11,309 百万円
固定式ホーム柵	14 駅	25 番線	1,575 百万円
バリアフリートイレ	1 駅	1 ヶ所	21 百万円
車両のフリースペース	6 編成	48 両	67 百万円
備考			
(2) 更新費（附带費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	17 駅	26 基	953 百万円
エスカレーター	11 駅	48 基	1,284 百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附带費用含む）	1,713	百万円	
収受システム改修費	50	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	250	百万円	
備考	維持管理費：エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵		

■ 整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

■ 整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	17,222 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	24	番線

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2036.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	58 駅	143 番線	57,783 百万円 ※1
固定式ホーム柵	3 駅	8 番線	504 百万円
エレベーター	1 駅	2 基	2,270 百万円 ※2
車両のフリースペース	29 編成	218 両	305 百万円
備考	※1：ホームと車両の段差隙間縮小に資する設備の整備費含む ※2：中津駅バリアフリー化工事費含む		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	各駅 ※3		2,250 百万円
エスカレーター	各駅 ※3		2,850 百万円
備考	※3：設備の状態に応じて順次更新予定		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	8,074	百万円	
収受システム改修費	-	百万円 ※4	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	-	百万円 ※4	
備考	・維持管理費：エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵 ※4：2036年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費およびその他の必要について、本様式には計上していない。		

■ 整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

■ 整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	74,036 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		143	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	1	駅
	二経路以上確保駅		駅